

# 古戦場と学びの道

三千人塚や分倍河原の古戦場碑などの史跡めぐりと、郷土の森博物館に立ち寄れるコースです。

## 高安寺山門



### 高安寺の山門は府中30景

下河原緑道を、右手に名木百選の坪宮のムクノキを見ながら北へ進むと、高安寺に至ります。境内を見学する場合は更に旧甲州街道まで進みましょう。高安寺は1万4千坪(4.6ha)の敷地を持ち、二層の山門を入ると名木百選のヒヨクヒバ、クスノキ、タラヨウ、コウヤマキ、ケヤキの群植があります。JR南武線まで下れば終点の分倍河原駅です。

## 下河原緑道

下河原緑道は、旧国鉄下河原線の跡を、郷土の森公園へと続く遊歩道として整備したものです。この路線は多摩川の砂利を運ぶ目的で明治43年に国分寺～下河原(現南町4丁目)間で開業し、東京競馬場開設の際は旅客線も開通しましたが、昭和48年4月武蔵野線開業に伴い旅客輸送が廃止され、昭和51年9月には貨物線も廃止されました。現在も緑道の一部に線路が残されています。

## 三千人塚で一休み

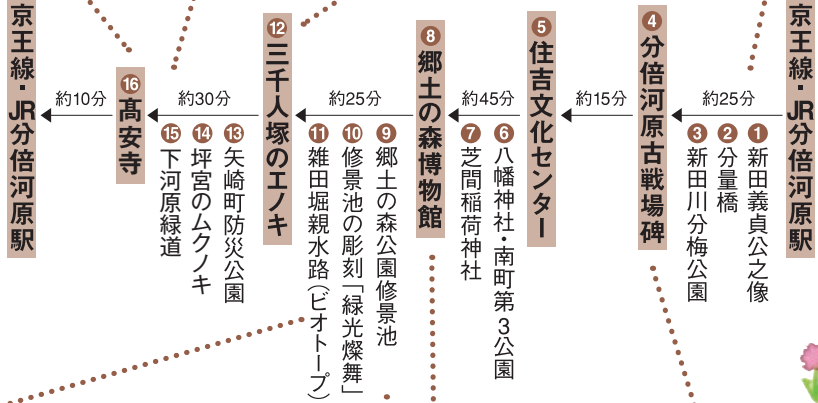
三千人塚には分倍河原合戦の戦死者三千人が埋葬されたとされています。昭和30年の発掘では骨壺4個と板碑が見つかり、中世墓地であることがわかりました。名木百選のエノキは旅人が休むための木陰を提供したのでしょう。

## 新田義貞公之像前から

分倍河原駅の新田義貞公之像(昭和63年 富永直樹作)前をスタート。鎌倉街道から分量橋を経て雑田堀緑道へ。分量橋は府中用水の流れを雑田堀に分水したところにかかっている橋です。雑田堀緑道を京王線の手前で右に折れ、新田川分梅公園へ向かいます。



新田義貞公之像



雑田堀親水路



修景池

### ハスの池は府中30景

郷土の森公園に、30種類のハスが咲く修景池があります。中でも大賀ハスは、故大賀一郎博士が、縄文遺跡から発見した古代ハスの種を発芽させたものです。郷土の森公園の脇の入り口から新田川緑道を上り、芝間通りへ。途中にある雑田堀親水路(ビオトープ)は、土手を作り子供たちが生き物とふれあえるようになっています。通水に対しては、サントリー<天然水のビール工場>東京・武蔵野と府中用水組合より協力を頂いています。

## 郷土の森博物館

1987年オープン。野外には江戸時代から昭和初期までの府中の復元建築物が展示され、芝生広場や水遊びの池は四季を通じて子供達でにぎわいます。博物館本館は蔵を模した建物で、府中の自然と文化をテーマに歴史・考古・民俗・自然の各分野に関する資料・模型・映像等による展示が行われています。23mのドームを備えたプラネタリウムも併設。ふるさと体験館では藁細工や竹細工などの体験学習ができます。

### 復元建築物と四季の花々 (オプションコース)

郷土の森博物館は、復元建築物のある通りや水遊びの池など、園内の散歩だけでも十分楽しめます。四季折々に花が咲き、60種千本以上あるという梅園では、2月上旬～3月上旬に「梅まつり」も行われます。梅雨時のアジサイもきれいです。

### 歴史的転換の舞台に

分倍河原古戦場の記念碑(昭和10年建立)があります。1333年に上州で討幕の兵を挙げた新田義貞は、ここ分倍河原で北条泰家率いる幕府軍を撃破、一気に鎌倉へ攻め込みました。分倍河原は鎌倉と群馬を結ぶ鎌倉街道と多摩川の交わる場所で、南北朝時代にはいく度も戦の舞台になっています。



郷土の森・ウメ



分倍河原古戦場碑



開館時間 9:00～17:00 (入館は16:00まで)

休館日 月曜日(祝日の場合は翌日) 年末年始他休館日あり

料金 【博物館】大人300円 中学生以下150円 【プラネタリウム】大人600円 中学生以下300円